平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

経営理念	3	魅力ある資源を上手につなぎ、市民満足度を高めるはつかいち
経営目標	2	ムダ・ムリ・ムラをなくし、みんなが元気な市役所に ～行政経営の推進～
重点的取組	2	効率的、効果的な行政組織をつくる

担当課名		自治振興部 市民課
予算科目 会計	01	一般会計
予算科目 款	02	総務費
予算科目 項	03	戸籍住民基本台帳費
予算科目 目	01	戸籍住民基本台帳費

事業名	戸籍住民基本台帳一般事業 証明書窓口受付システムの設置	事業開始年度	平成 22 年度
		根拠法令 条例 個別計画 等	－

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の（何の）ために	【目指す姿・意図】（いつまでに、どういう状態に）
	来庁者 市民課職員	市民カードの普及、証明書窓口受付システム・証明書自動交付機の利用促進により、窓口混雑の緩和、利便性の向上を図る。 ・市民カード利用者：交付請求書への記入不要、交付待ち時間短縮 ・その他来庁者：窓口受付システム等への来客がシフトし間接的に待ち時間が短縮 ・職員：受付業務及び証明発行事務の削減

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体（パートナー）	事業実施に係る市役所（職員）の役割
市	－	証明書窓口受付システムの利用案内、市民カード取得（暗証番号登録）案内を行う。

3 平成 25 年度 予算 （事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

活動内容

・証明書窓口受付システム（端末）の導入と継続

証明書自動交付機や窓口受付機を設置し、窓口混雑の緩和及び待ち時間の短縮を図る。

証明書自動交付機や窓口受付機を利用するためには、市民カード（暗証番号登録）が 必要であるため、市民カード普及のために、窓口、HP、広報等でPRしていく。

証明書の申請から５分以内の交付を目標に、証明書窓口受付システムの普及を進める。

証明書窓口受付システム利用時間…窓口開庁時間と同じ８：３０から１７：００

証明書自動交付機利用時間　　…８：３０から１９：００（土日祝を含む。年末年始を除く。）

・導入効果

証明書取得に係る所要時間（申請者が市民課に滞在する時間）

窓口申請	証明書窓口受付システム
10分～25分 この幅は混雑状況によるもの	6分 混雑状況にほとんど左右されない

・事業費関連

【歳入】

その他（証明手数料等）　435千円

【歳出】

賃貸料・消耗品費　435千円

コスト情報（円）

項目			平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	平成 25 年度予算	備考
直接事業費 A			1,410,000	436,000	435,000	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	借入金（市債）					
	その他（使用料など）		1,410,000	436,000	435,000	
	市（市税など）					
人件費（按分）B			0.04 人 353,960	0.04 人 354,280	0.04 人 350,080	
総事業費（A+B）			1,763,960	790,280	785,080	
単位コスト換算	①	人口（4月1日現在）	118,353 人	118,353 人	118,000 人	
		市民1人当たり	15	7	7	
	②	申請受付件数	1,449	1,583	1,600	
		申請1件当たり	1,217	499	491	

目標到達度

活動及び成果指標		単位	H 23 実績値	H 24 目標値	H 25 目標値	H 27 目標値	備考
活動	暗証登録市民カード交付数	枚	31,023	31,820	32,000	33,000	
	市民カード暗証登録率	%	42	43	44	44	
成果	窓口システムによる交付数	件	2,194	2,500	2,700	3,000	
	自動交付機利用率	%	18	18	20	24	